



谷口雅彦

Masahiko Taniguchi

株式会社 都市環境研究所 計画グループ 企画・設計室長
執行役員／主任研究員／一級建築士

URL : <http://www.urdi.co.jp/>

Email: taniguchi@urdi.co.jp

〒113-0033 東京都文京区本郷2-35-10

TEL 03-3814-1001 FAX 03-3818-2993

■活動のビジョン

私は、景観・デザイン等に関する計画、景観ガイドライン、デザイン調整業務、地元のまちづくり、民間開発プロジェクト、まちと建築をつなぐ部分の計画・設計等の日常業務を通じて、「都市の魅力ある外部空間づくり」をテーマに、日々取り組んでいます。

■自身が考える都市デザイン、まちづくり等の課題と解決策等

私は、「ちょっと休もうよ」「話をしようよ」「気持ちいいね」「寄り道しない?」「こっちを通ろうよ」といった、人の快適な活動の場づくり、心地よい気持ちになる場づくりを提供していくことが都市デザインと考えています。

今、あらゆる価値観が変わってきている時期、まちづくりに関わっていることに責任を感じています。これといった解決策はありませんが、後の時代から、あの時代に取り組みを始めていて良かったなという企画・計画・設計をしたいと考えています。

■自身が関わった活動・作品・現場の概要

- 1 幕張ベイタウン道路景観施設設備設計
1995~97年 (千葉県企業庁)
- 2 幕張ベイタウンSH-3事業地区
デザイン調整支援(計画設計調整者:土田旭)
2000~06年
(MIC2001グループ:代表企業野村不動産)
- 3 浜見平地区都市デザインガイドライン策定
2008年 (茅ヶ崎市)
- 4 秋田県仙北市角館外町のまちづくり支援
2008~11年 (角館まちづくり研究所)
- 5 練馬区景観計画策定業務
2011年 (練馬区)
- 6 川崎市日河原町小学校グラウンド附帯施設設計・監理
2012~13年 (川崎市)

幕張ベイタウンの取り組み

幕張ベイタウンでは、「計画設計調整者:土田旭」のもと、住宅事業者、建築設計者、ランドスケープデザイナー、色彩、照明の分野の異なる専門家とデザイン調整を行ってきました。



1 2



6 体育館に附属するトイレの設計・監理

■主な経歴

- 1967(昭和42)年 生まれ
- 1993(平成5)年 熊本大学大学院工学研究科 修了
- 1993(平成5)年 (株)都市環境研究所 入所
- 2008(平成20)年 主任研究員
- 2012(平成24)年 執行役員

■所属等

都市環境デザイン会議正会員 [事業委員]
東京都建築士会正会員

■著書

「建築とまちなみ景観」共著、ぎょうせい、平成17年1月



3 ガイドラインに基づき、事業者が模型を持ち寄り、デザイン・レビューを実施



5

4 上からみて、なんの変りつもないこの町に100棟の蔵があります。



4 秋田県仙北市角館町は、桜と武家屋敷で有名ですが、その南側に位置する商人町「外町」にも100棟を超える蔵があります。平成17年から地元の活動団体である「角館まちづくり研究所」の応援をしています。

■おすすめ景観

学生時代に熊本城が見える場所からの写真を撮影するという課題がありました。まちを注意深く歩くと、至るところから熊本城が見えます。なるほど、この街の町割りは、意図的に熊本城が見えるように計画されているのだと。どの「まち」にも、大切なランドマークとなる建物や樹木や山々があると思います。注意深く観察して、地域の身近な資源を発見し、それを大切に作るまちづくりを実践していきたいと思っています。

